

令和2年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	12	議席 番号	19	氏名	鈴木 弘 議員	1 / 1												
発言項目				要 旨		答弁者												
1	デジタル変革による 住みやすく持続可能な まちづくり ～デジタル トランスフォーメー ション（DX）を目指 して～			<p>コロナ禍で日本社会のデジタル化の遅れが白日にさらされた。しかしそれに先立つ令和元年5月に「デジタル手続法」が成立し、12月には「デジタル行政推進法」が改正された。「デジタルファースト」「ワンスオンリー」「コネクテッド・ワンストップ」といった基本原則が定められた。近隣自治体にも「デジタル変革宣言」を行っている例がある。そこで伺う。</p> <p>(1) 他市の例を見ると「市民サービス」「地域活性化」「行政経営」の3分野でデジタル化を推進しているようだが、当市での取組はどうか伺う。</p> <p>(2) デジタル変革を推進する部署はどこか伺う。</p> <p>(3) 第5次富士宮市総合計画の高度情報化の項に「ICTの活用を図り、行政事務の効率化と情報セキュリティ対策に努めます」とあるが、コロナ禍ではそれ以上のことが要求されている。デジタル化により人々の生活をより良い方向に変化させるデジタルトランスフォーメーションという考えもある。これらについて見解を伺う。</p> <p>(4) 現在デジタル変革について、総合的にどう取り組んでいくかの方針があるか伺う。</p> <p>(5) 「ワンスオンリー」の原則に基づき考えると、コンビニでマイナンバーカードを読み込ませて住民票が取れるように、庁舎窓口でも申請書に記載することなくマイナンバーカードを提示して発行されるようにならないか伺う。</p> <p>(6) 「デジタルファースト」の原則に基づき、住民票等を自宅で電子申請して、メールで受け取りプリントアウトして使用するようなことができないか伺う。</p> <p>(7) デジタル変革はリモートワークやテレワークを促し、都市集中から地方分散へと地方分散型社会を招くと予測され、チャンス到来といえる。市はデジタルマーケティングを行いアピールしているがそれ以上のことが望まれる。どう考えるか伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長												
2							道路上の枯れ木処理 と道路脇の草処理につ いて			<p>(1) ナラ枯れが進行している。道路の脇で枯れているものもある。早めに処理されるべきと思うが、どう処理されるのか伺う。</p> <p>(2) コンクリートブロックとアスファルトの間に草が生える。これを防ぐ方法を市内業者に対策を求めることができたらいと思うがどうか伺う。</p> <p>(3) 課題解決の企画提案の方法として「アーバンイノベーションジャパン」という手法があるが参考にならないか伺う。</p>		市 長 副 市 長 関 係 部 長						
3													住宅の裏にある大木 を伐採するための助成 について			<p>(1) 森の力再生事業の対象になる場合があるのか伺う。</p> <p>(2) ハチの駆除と同じような助成が考えられないか伺う。</p>		市 長 副 市 長 関 係 部 長